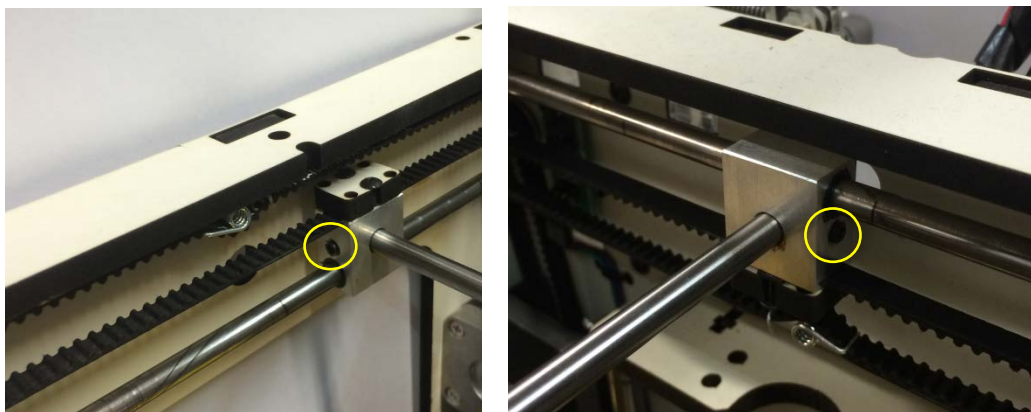


デュアル用 2nd ノズル組立てマニュアル

シングルノズルの BS01 をデュアルノズルにするために、ノズルを 1 つ追加する為のマニュアルです。

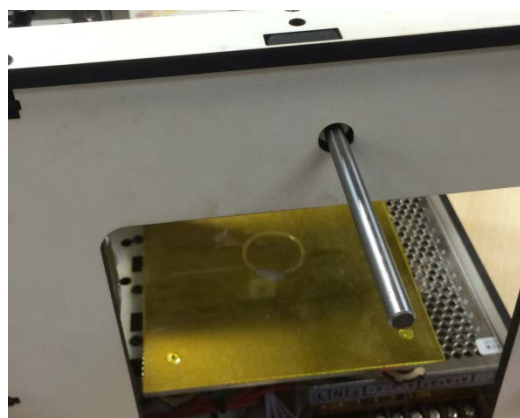
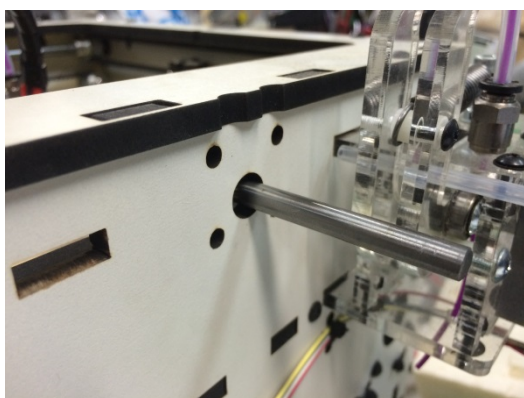
この作業は BS01 のコンセントを抜いた状態で行って下さい。



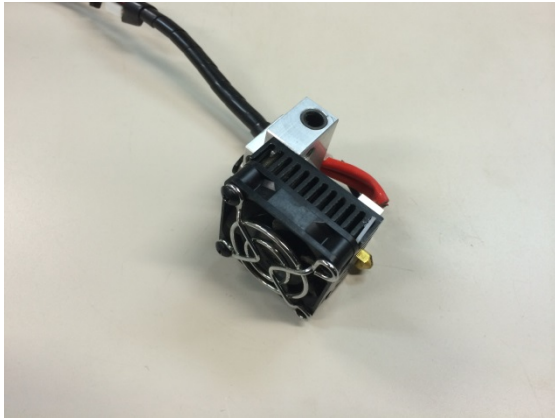
まず、スライダに付いているヘッドロッドを固定している、ホーローセットを 4 箇所緩めます。



ヘッドの配線を固定している結束バンドをニッパー等で切ります。
※スパイラルチューブや配線を傷つけないようにして下さい。



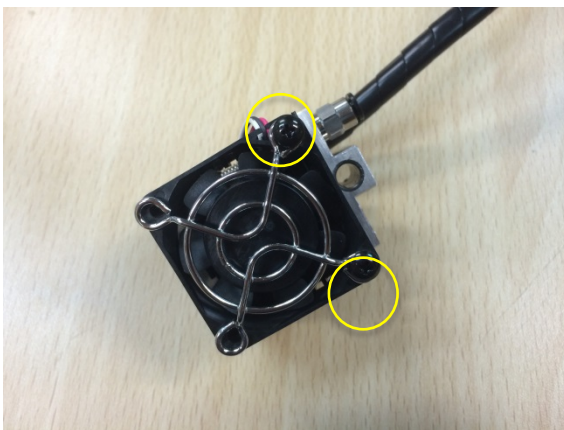
X 軸 Y 軸共、ヘッドロッドを抜いてヘッドを外します。
※配線は本体と繋がったままの状態で作業できます。



この状態になりました。
※ヘッドロッドがスライダから抜けない場合が有ります。
その場合は無理して抜かないで、そのままの状態で作業して下さい。
無理にヘッドロッドを抜こうとすると、スライダとカジって不具合が生じたり、軸が曲がります。無理しないで下さい。



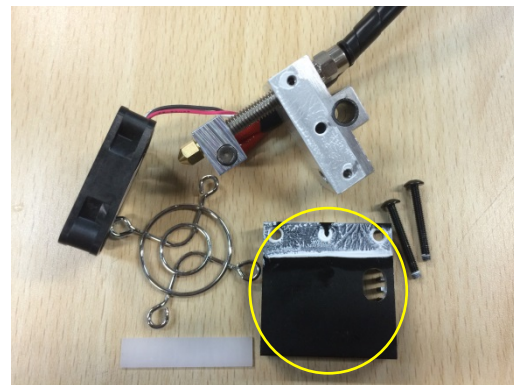
ノズル追加用の部品を準備します。



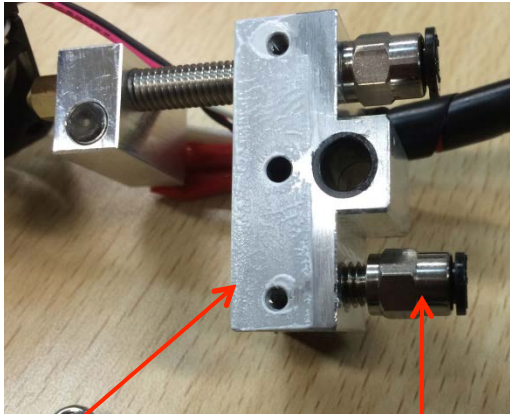
デュアル用ヒートシンクに交換するためにファンを外します。

二箇所の M3-25 トラスねじを外して下さい。

外した様子は右の写真のようになります。
シングル用のヒートシンクはもう使用しません。



シングル用ヒートシンク

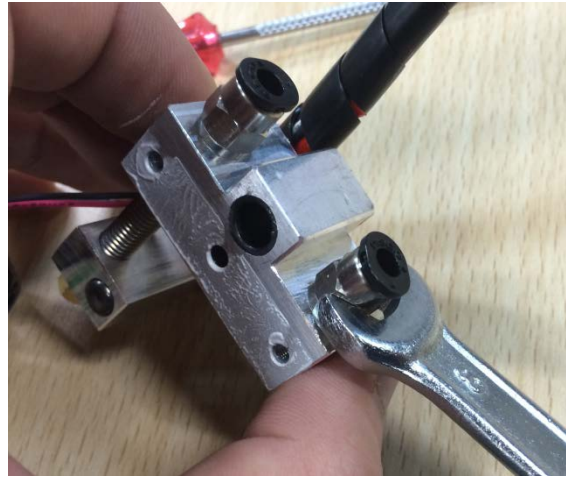


ヘッドブロック

チューブ継手

ヘッドブロックにチューブ継手をねじ込みます。

手で閉めこんだ後、8mmのスパナでしっかり密着させます。

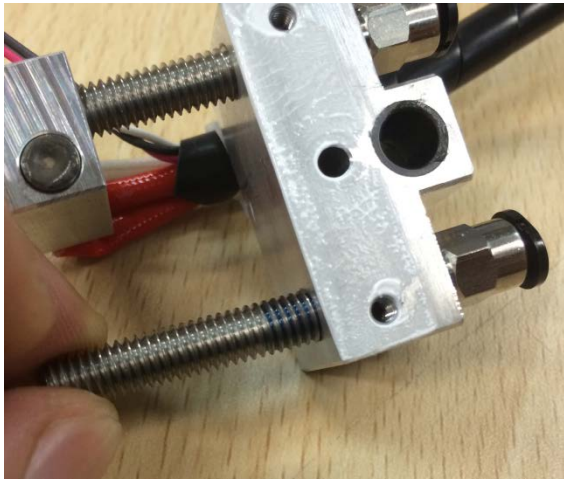


シリンダー

PFA チューブが見える側からヘッドブロックにクルクル回して取り付けます。

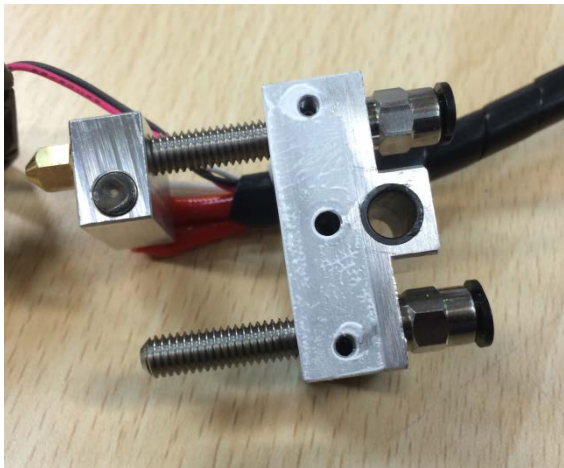
※このシリンダーの固定にはネジ緩み防止剤を使用することをお勧めします。
セルフキット/アップグレードをご購入のお客様は、固定する対称部品の1つであるヘッドブロックがすでにお客様の手元にあるため、こちらでネジ止め剤を塗布することが出来ません。シリンダーが後から緩むと、ノズルの高さに影響が出たり、ノズル交換時にノズルを緩める際シリンダーも一緒に緩んでしまったりします。BS01のキット及び完成品には、すべてねじ緩み防止剤を塗布してヘッドブロックとシリンダーを固定して出荷しています。



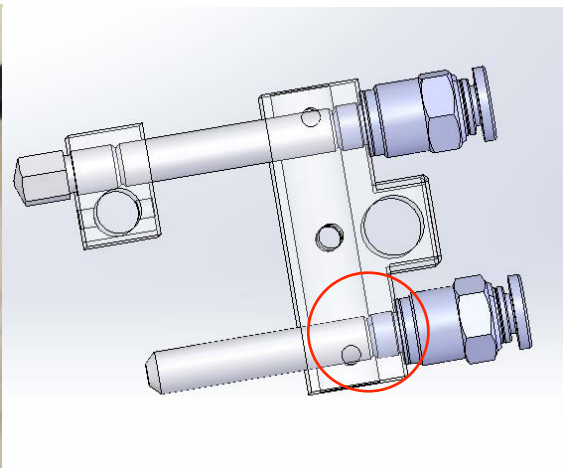


シリンダーをヘッドブロックにねじ込みます。

チューブ継手の底面とシリンダーがピッタリ密着するまで、しっかり入れて下さい。

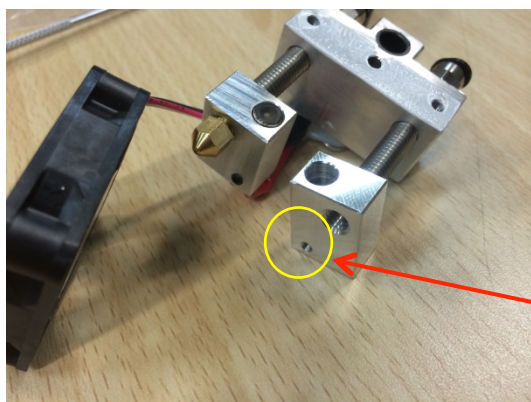


しっかり締めて下さい。



内部で密着します。

※チューブ継手の型式はピスコ PC4-M6M を使用しています。
チューブ継手の型式が変わると左右のノズルの高さが合わなくなります。保守部品をご自身で調達する際は、同じ型式のチューブ継手を入手して下さい。
ねじ緩み防止剤が固化するまではシリンダー緩み方向の力を加えないように注意して下さい。



シリンダーにヒーターブロックを取り付けます。

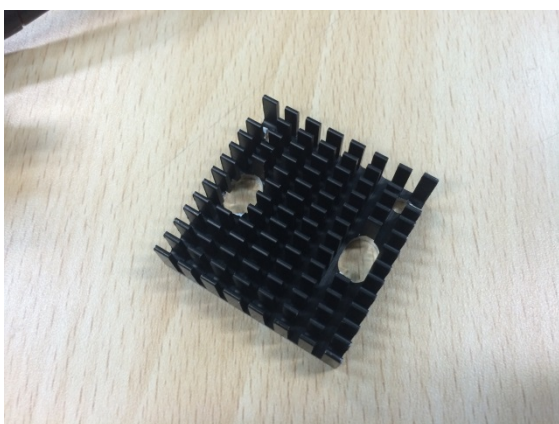
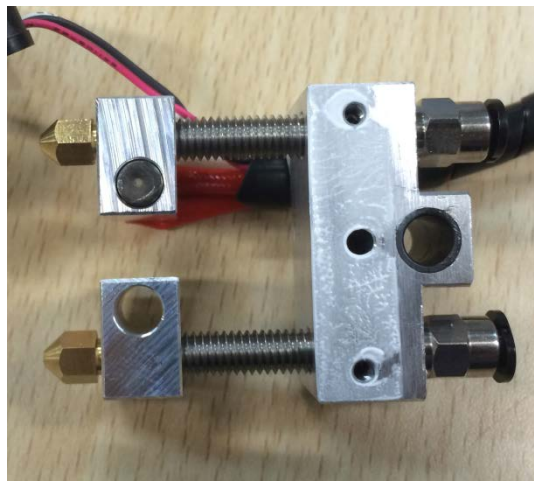
ホーローセットの固定穴が写真のように下向きになるように3回転程度ねじ込みます。

ホーローセットの穴

ノズルを取り付けます。

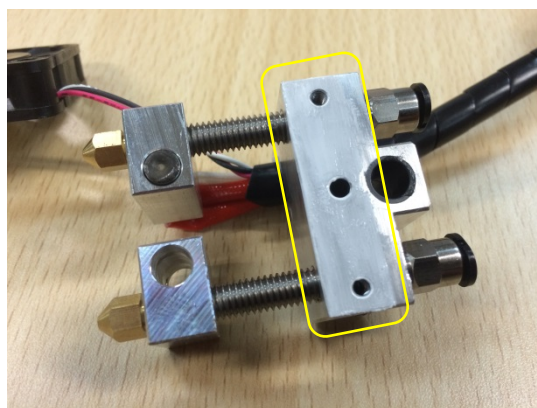
ノズルとヒーターブロックの間隔の調整は一つ目のノズルと同じ要領です。

b5_1BS01 取扱説明書 Rev1.1(ヘッド組立編).pdf
の2頁(2of9)を参照して下さい。



デュアル用のヒートシンクを準備します。

バリがある場合はカッター等で除去して下さい。

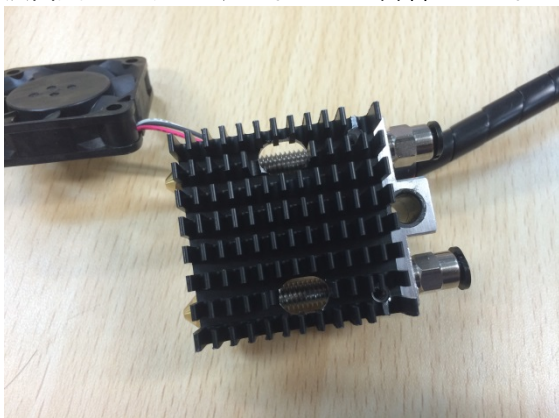


ヒートシンクとヘッドブロックの熱伝導を高めるために、導熱グリスをならします。

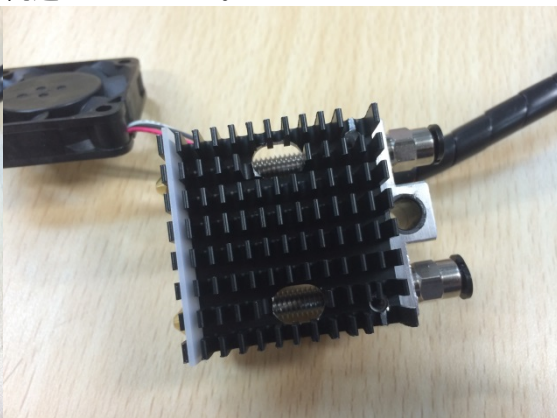
キット使用したものが余っている方は少し追加して下さい。

完成品ご購入でデュアルのキットに挑戦されている方はシングル用のヒートシンクに残った白いグリスを楊枝等でヘッドブロックに移して下さい。

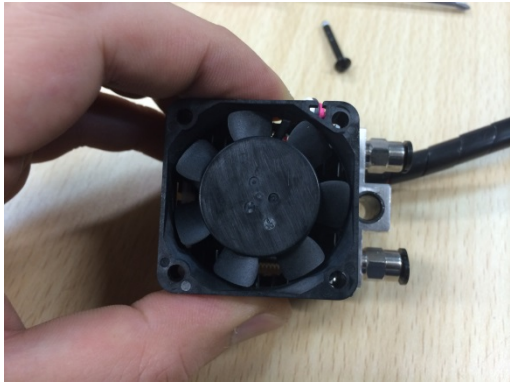
沢山塗らなくても、それなりに密着していれば問題になりません。



デュアル用ヒートシンクを乗せます。



風ストップを乗せます。



ファンを乗せます。



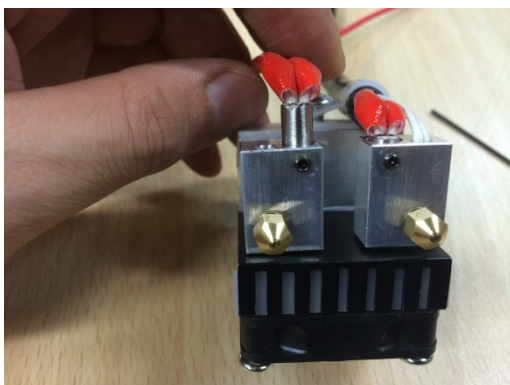
フィンガーガードを乗せて M3-25 トラスねじで固定します。



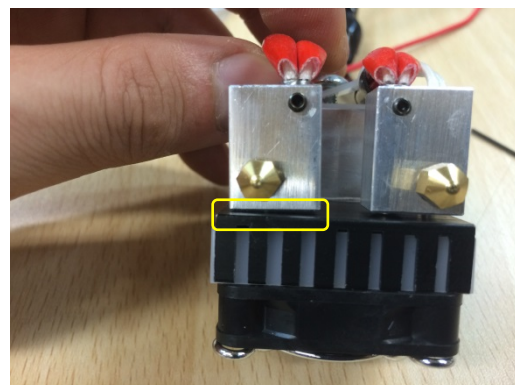
この向きにします。



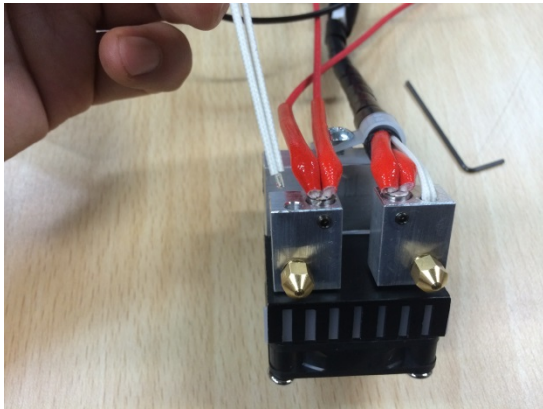
M3-3 ホーローセットを先端だけ入れておきます。



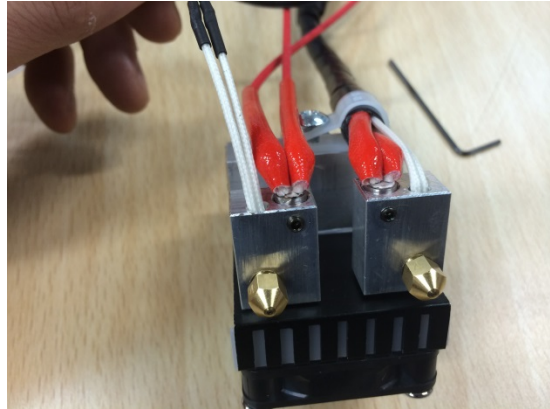
ヒーターを入れます。



ヒーターの先端がヒートシンクと接触していないことを確認してホーローセットを締め、ヒーターを固定します。



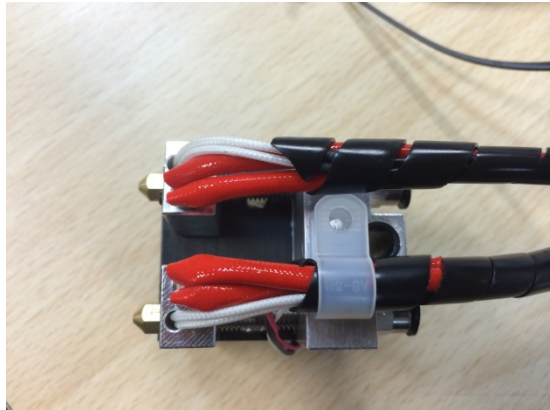
サーミスターを差し込みます。



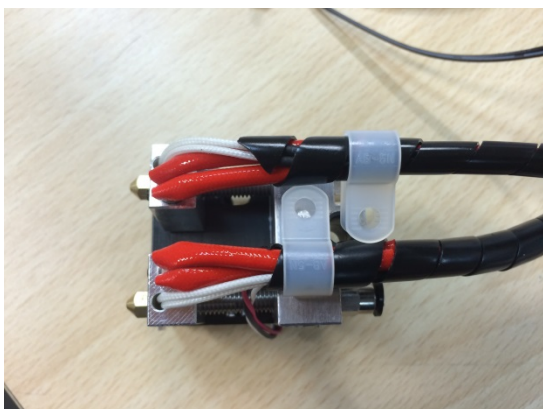
奥まで差し込みます。



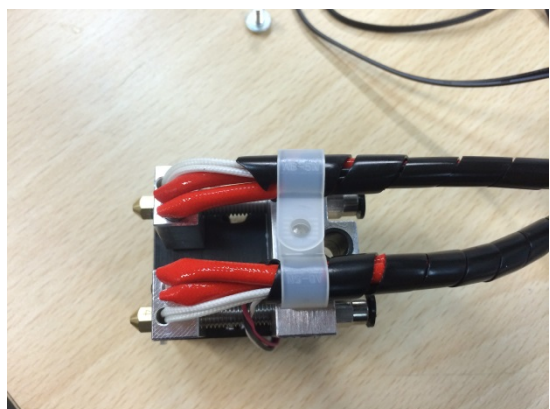
スパイラルチューブを写真の位置だけ巻きます。 丁寧にヒーター側に寄せます。



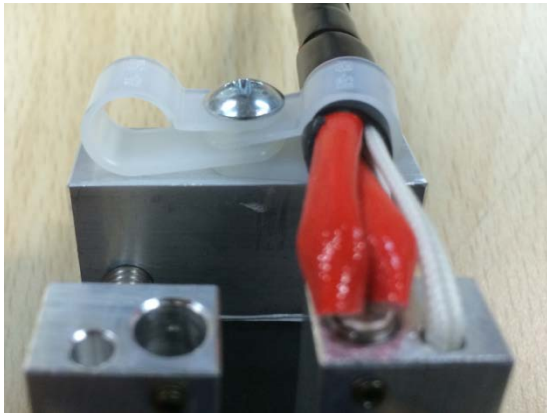
※サーミスターとヒーターの線の根元部分は断線しやすいので丁寧に作業をして下さい。
スパイラルチューブをヒーター側に寄せた時点でサーミスターが穴の奥までしっかり入っていることを確認して下さい。



ケーブルクランプを取り付けます。



写真のような位置に移動します。



もともと付いていたケーブルクランプ固定用のM4-8 トラスねじを外して 2nd ノズル用のケーブルクランプを共締めします。
左の写真はわかりやすいようにケーブル無しで撮影してあります。



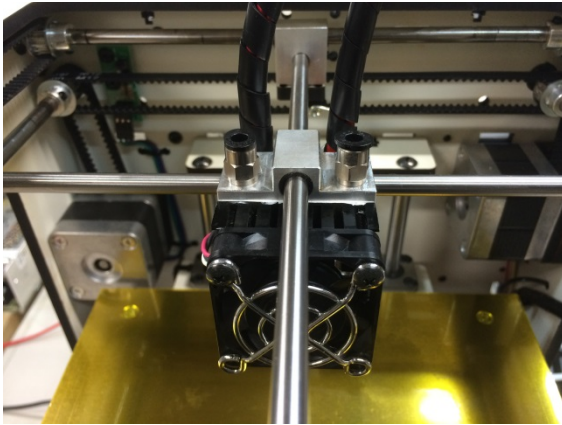
ケーブルクランプの固定が出来ました。



残りの部分のスパイラルチューブを巻きます。

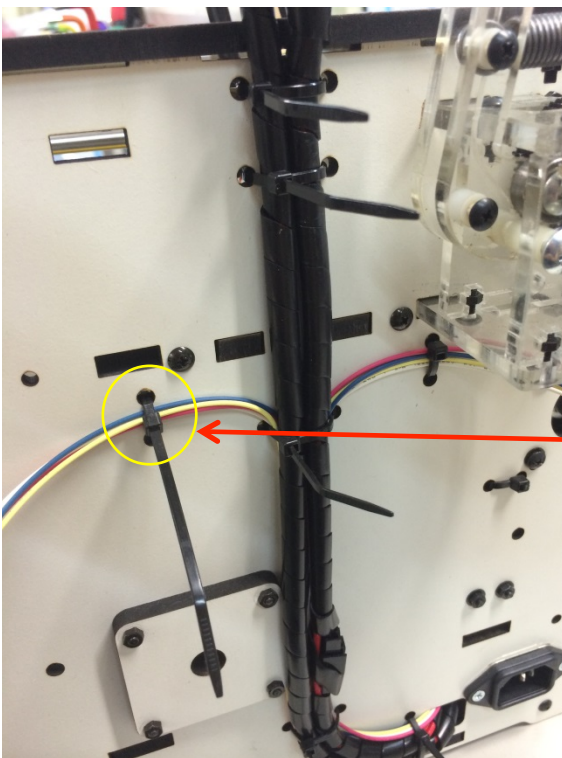


この工程で追加した 2nd ノズルのヒーター線とサーミスター線にマークします。
ヒーター線 : H2 D9
サーミスター線 : T2
後ほど配線時 D9 の端子と T2 の端子に接続します。



ヘッドロッドを通してヘッドを元の位置に戻します。

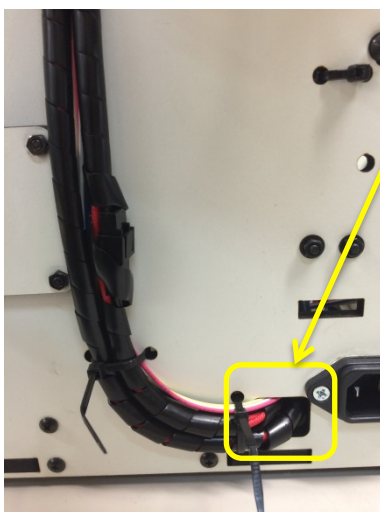
スライダのヘッドロッド固定用ホーローセットを締めます。



本体裏の穴で電線を固定します。

この時に 2nd フィーダー用の電線も固定します。

白色コネクタから 12 センチの部分を終末バンドで締めます。



2nd ノズルのスパイラルチューブと 2nd フィーダーの電線を開口部より他の線同様に本体内部に入れます。

2nd ノズル組立ての工程はこれで終わりです。

ドライバー基板との結線はデュアル配線の項で施工します。